

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	3373400898		
法人名	社会福祉法人 恵人会		
事業所名	グループホーム 神庭荘		
所在地	真庭市組370番地1		
自己評価作成日	平成21年12月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障害者生活支援センター		
所在地	岡山市北区松尾209-1		
訪問調査日	平成22年2月25日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

経営理念に基づき 家庭的な雰囲気大切に、一人ひとり安心して安全な介護を行っている。や・い・ゆ・え・よ(やさしく いたわって ゆとりをもって えがお よろこんで)の介護をさせていただいております。豊かな自然にふれあいながら共同生活をして心豊かに自立をし人間性の回復を目指しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

グループホームとして設立され6年の間、利用者満足度を常に念頭に置きながら職員 管理者そして母体である社会福祉法人の理事長にいたる全ての方々の思いが凝縮された施設でした。一定のレベルにまで到達されていますが、その現状に満足することなく新管理者が新たな姿を求め努力をされている姿に拍手をおくりたくするような気持ちがいきました。長い時の流れの中で育まれた、穏やかな時の流れが感じられるグループホームでした。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を確認して事業所理念を大切にしている。事務所に掲示してある。	施長をはじめ事業体としての理念もしっかりし、教育充実されていました。その中で職員が意識をしながら仕事に取り組めるように管理者が努力されていました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	徐々に介護度も上がり全員は外出できていませんが、納涼祭・祭り・慰問時等には地域の方と交流を図るように努めております。いつでも来て頂けるような雰囲気を作っております。	事業所が開設されて約6年と歴史があり、併設の事業所を通じてのボランティア等の交流がなされているとのことでした。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入所希望の方の相談に対しては可能な限り対応できるように話しを持っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を年に4回開催をしている。地域の方・民生委員・家族会・真庭市の職員・神庭荘居宅・支援センター・デイサービスと話し合いを行う。事業実績報告・予定・要望等話し合いを行いGHを理解してもらうように努めています。	運営推進会議も出席者と入所者が一緒に食事をするなどホームの中に入りだだの報告会に終わる会議ではない利用者を変えた会を開催しておられました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議でも市の方に来て頂いている、3か月に1回はグループホーム連絡協議会を行い市の担当の方にも出席して頂いて連携をいいる。	グループホーム連絡協議会活動を活かし、行政の連携が十分できていました。一事業所だけでなく横とのつながりも大切にした関係作りをされていました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について荘内で研修をおこなっており職員の共通理解を行い不明な点はファイルなどを見て再度確認をしている。	身体拘束に関しての事業所内研修に参加しホーム内で研修報告を必ず行うことにより職員の相互理解に努めている。マニュアルも完備されていました。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について荘内で研修をおこなっており職員の共通理解を行い不明な点はファイルなどを見て再度確認をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についても荘内で研修をおこなっており職員の共通理解を行い不明な点はファイルなどを見て再度確認をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約説明内容を同じ席に置き説明者は2人で対応しています。納得して頂き署名・捺印をしてもらっています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にアンケート箱・用紙を設置していません。家族への月1回の連絡・電話・面会時等の時に家族に要望を聞いています。	ご家族が面会に来られたときなどに意見をいただき、遠方の方にはお手紙で連絡をとり希望等の抽出に努力をされ、運営に活かされていきました。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営推進会議がある時には職員に提案がないか、意見を聞き反映をしています。	管理者、施長、理事といろいろな立場の方が、職員の思いを聞き取り、運営に反映されていきました。	事業所全体の目指す方向性、管理者の思いを大切に、職員の今以上の協力、理解できるよう指導をのぞみます。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の疲労・ストレスの要因には気を配り明るくしゃべりやすい雰囲気を作り職員同士の人間関係をできるだけ把握するように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県・市の研修には研修計画に基づき業務に支障のない範囲で出席している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	3か月に一回はグループホーム連絡協議会を行い各事業所とも交流を持ちネットワークを作っている。また近くの施設の方とも親睦をはかるように努力している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族より相談があった時点で本人と面談を行い施設の様子等見てもらう。本人・家族の不安を和らげる。いつでも連絡できる体制を作っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望を理解して、GH.施設全体としてどのような対応ができるか事前に話し合いを持つ。家族から相談要望があるとその都度対応をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現状のサービスで本当に本人が満足されているか、を常に考えながら日々気づきを伝達ノートを使い行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	同じ時間・空間を共有するという認識で生活を行っている。ごく当たり前で、自然体な関係で人間関係が築ければいいと思います。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の体調のこと、生活のことを電話連絡をしている。外出・等を家族に無理のない程度にお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの人の面会を継続できるように無理のない程度で働きかけている。	自宅への訪問したり、買い物に出かけたりと入所者様の状態に合わせた支援に努力されていきました。	立地的に難しい点があるとは思いますがよりいっそうの働き工夫を希望します。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の性格・相性・身体的な事などを総合的に把握して必要に応じて席替え・和室で休まれている位置等を変え、係り合いを持ち支えるように努力をする。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設移動・長期入院時は情報提供を欠かさず行っている。長期入院になる場合でもGHで出来る限り相談にのれるように心がけ・努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを聞き声かけを行う等利用者の気持ちに寄り添いまた家族よりの情報を聞き意思疎通を図るようにしている。	日常生活のケアの中から、意向を聞き自由な暮らしができるよう支援している。利用者の細かな部分まで配慮されているのが感じられました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族よりどのような生活を送って来られたかということ聞き、また生活の中の会話の中などから暮らし方・考え方を個別に理解するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人一人の生活リズムを把握に努め細かい行動等を見逃さず常にアセスメントを行う目で努力している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を個人がCMと計画を練って訪問してくれたとき様子を伝えてそのことも計画に入れるようにしている。	ケアプラン:介護記録をもとに介護計画に生かしておられました。日常業務の中で記録された細かな利用者の言葉、行動を見逃さないよう、常に利用者へ寄り添ったケアが実践され、計画にも反映されていました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	伝達ノートを活用し日々の変化・等を記録して気づき・伝達記録を確認して業務に入るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護保険内サービスは基本においてしかし対応しきれないところは管理者等に相談をして利用者個々にできるだけ対応するように多機能化に取り組んでいきます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等で施設にボランティアの方が来てくれる時にはその場に参加をしていただいたりしています。安全で心地よいを支援していくように努力しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との関係を大切にしながら適切な医療を受けられるように関係を築いています。可能な限り受診のお手伝いを行っています。もちろん家族との連携の中でしています。	家族にも協力していたりしながら、家族で対応できない部分は職員で対応した。併設の事業所に毎週来る医師とも連携とっていました。・病院への受診時には状況説明書を作成するなどして、医療連携に努力していました。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	グループホーム内での健康管理については主治医の病院のNSIに連絡を取り健康状態を維持できるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはGHでの様子などを記入して情報提供を行っている。また定期受診時にも受診者だけでなく入所者の様子など情報交換を行い関係づくりをしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族の希望を意向を踏まえ、安心して納得してもらえるように随時意思確認を行い取り組んでいるところです。	見取りの対応もし重度化や終末期に向けたマニュアルも作成し職員教育にも熱心に取り込まれていました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変時についてもマニュアルがあり職員は熟知している。応急手当等緊急時の対応等勉強会を行い習得するように心がけている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成して職員にも徹底している。またいつも緊急時の対応については、仕事に入る時には緊急時などはどのようにすればよいか等を考えて入っている。	訓練も実施され、災害時対応のマニュアル、緊急時の連絡体制も整い、職員が見える場所に掲示していました。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年に一回ではありますが利用者の満足度調査を行っている。回数を増やして利用者本人が尊重されている事を満足度に反映させていきたい。 声掛けにもTPOを考えて配慮して話をする。	接遇研修も実施され、個性を大切に言葉かけ、こころ配り、気配りがある対応をされていました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりが決定をしやすいような声掛けを行いました選びやすいオープンクエスチョン形式や二択程度で本人の自己決定がしやすいうように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の日々のペースを大事にして生活をしてもらい買い物・受診については体制を整え安全管理を行い買い物・受診に行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝・夜の着替えは基本的には本人の意向に沿って行っている。意思疎通の難しい方等については家族の方・以前の様子など情報をもらい対応する。それがBetterかは常日頃考えて対応している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は楽しみであると言われる方が多いので準備段階での作業をしていただいたり、食器を片づけることの出来る人は片付け・洗いものもしてもらっています。	一人ひとりのペースに合わせた配置で調理、盛りつけは工夫されている。食事中にも声かけをしたり、和やかな空気のなかで食事をされていました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を単位として考えて食事を考えています。栄養バランスを考えて食事を摂取してもらえようとしています。不足気味な方については、食事形態等を考慮して提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは食後必ず行っています。義歯など洗える人は洗ってもらっています。洗えない方は介助にて口腔ケアを行っています。本人に合わせて介助をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排便介助は本人のパターンを確認してなおかつ時間帯誘導などの複数の指標を用いて行います。本人のプライバシーなどに配慮して行っています。	個々にあった排泄誘導している。本人の希望に沿った支援に努め自身が持てるよう、見守りがなされていました。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録票を毎日つけています。繊維質の多いもの・適度な運動・水分補給・センナ茶等を飲用して頂きそれでもなおかつ出ないときは、3日排便の無い時は本人もちの下剤を服用していただくようにしています。(かかりつけ医の指示のもとです)		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	2~3日に一回は行っている。入浴の時間帯はだいたい設定していますが、声かけを行い利用者がいいタイミングで入浴を行っています。あまり無理せずシャワー浴をおこなったり、洗髪等行わないような対応しています	安全確保に努め個々の入浴習慣の沿ったゆったりとした時間が過ごせるよう配慮されていました。身体状況に合わせた対応に心掛けておられました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝られるときは個人個人違うためTVを見ていただいたり、お茶を飲んでいただいたり、本・新聞等をゆっくり見て頂いて、後本人の希望に応じて就寝している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Drの指示により処方された薬の内容を薬局より紙ベースで頂いている薬の内容についてファイルにとめておりいつでも見えるようにしている。特に担当者は理解を深めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	気分転換をするにあたり個々の嗜好品・楽しみを聞きしたことを的確にしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の家族に戸外に出かける時には声かけをしています。秋にはコスモスを見に行きました。お祭りの神輿が神庭荘に来たのでダンジリ・神輿を拝ませてもらった。希望を聞き外出したいと希望者には出来るだけ対応できるように努力しています。	個々の利用者に合わせた、対応ができていました。家族と協力し外出支援に努力されていました。事業内行事にも積極的参加され、利用者の外出機会の幅を広げる努力がされていました。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居前・入居時においても家族・本人・管理者リーダーと話し合い小遣い程度のお金を管理している。面会時に目を通して頂いている。PC・出納帳にて管理しています。家族に金額が少なくなった場合は連絡を少なくしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人宛に来た手紙は確実に本人に渡し返信したいという時には本人もちのはがき・切手を張る手伝いをして事業所に仮設のポストがあり投函している。電話などの時は電話を使い話して頂く事もある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家・家庭的雰囲気や大事にして壁には折り紙を台所には季節の花を生けたりして季節感を感じてもらおうようにする。	生活重視の空間作りができていました。限られた空間でどうすれば利用者様に、日々楽しく過ごしていただけるのかとゆう思いが感じられる空間作りなされていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはテーブルが置いており和室には横になれるスペースがあり居場所を変えることができる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各家(居室)には個人の馴染みのものがあり居室の窓にはプライバシーに配慮をするようにしている。家のは入り口には個人で作成したものを暖簾につけている。	居室は個々の個性が活かされている。自然体で自由な暮らしができるよう支援されました。その地域(寒冷地)に合わせた対応がなされ生活重視の空間ができあがっていました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物の中には必要個所に手すりをついてもおりトイレなどの表示もある。希望により個人家(居室)に表札をつけてもいます。		